

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

今治造船株式会社広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市幸崎能地2丁目1-1

(3) 業種

3131 船舶製造修理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成27年度から平成30年度までの4年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO2			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
非エネルギー 起源CO2			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
メタン			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
一酸化二窒素			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
フロン類			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
温室効果ガス 実排出量総計			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
温室効果ガス みなし排出量												
実績に対する 自己評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：溶接用ワイヤー量 (t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成26年度		平成	30年度	平成	27年度	平成	28年度	平成29年度	平成30年度	平成	年度
エネルギー 起源CO2	20.22		19.41		19.41		20.57		22.59		22.83	
			4.0		4.0		-2.0		-12.0		-13.0	100.0
非エネルギー 起源CO2			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
メタン			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	20.22		19.41		19.41		20.57		22.59		22.83	
			4.0		4.0		-2.0		-12.0		-13.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)	7.22		6.92		7.03		7.50		8.29		8.38	
			4.0		3.0		-4.0		-15.0		-16.0	100.0
実績に対する 自己評価	温室効果ガスの原単位は、H28年より船型がバルク船からコンテナに代わりワイヤー量の減少の為原単位が悪化した、またH29年度及びH30年度はコンテナ船の試験運転燃料が大幅増加の為、悪化しました。											

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	高圧変圧器を順次トプルランナー変圧器に変更	15t-CO2/年	トランス更新時及び新設時トプルランナー変圧器を採用
2	LED照明器具の採用	100t-CO2/年	工場天井に採光設備による昼光の有効利用、またLEDランプの採用
3	インバータモータの採用	10t-CO2/年	清水ポンプをインバータポンプに変更
4	白熱電球をLED電球に変更	200t-CO2/年	船内工事用照明白熱電球をLED電球に変えた

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	—	
2	—	
3	—	

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	ISO14001取組	—	定期的監視、見直し
2	除湿機運転時間の削減	—	塗装工場の、除湿機の運転時間を削減
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。